



## 今回の主な内容

- ・ 公益認定取得について(報告)
- ・ フィブロスキャン検査報告
- ・ 結核と肺癌
- ・ がん征圧キャンペーン(報告)
- ・ 結核予防週間(報告)



山梨県

# 健康管理事業団

だより

平成25年 秋号

発行：財団法人山梨県健康管理事業団  
〒400-0034 甲府市宝1丁目4-16  
TEL：055-225-2800 FAX：055-225-2809  
ホームページ <http://www.y-kenkou.or.jp>

## 公益認定取得について(報告)

当事業団は、平成25年9月20日に開催されました第46回山梨県公益認定等審議会におきまして公益財団法人として認められました。

公益目的事業として、広く県民の疾病予防や生活環境、健康の保持増進に対する関心を高め、予防について正しい知識を普及し、病気を未然に防ぎ、健康で長生きできるよう、普及啓発活動や各種事業を実施していきます。

また、県民の疾病の予防・健康の保持増進を図るため、各種健診・検査等の事業を実施することにより、そこから得られる県民の健康状況に関する豊富なデータを活用し、本県の健康課題を抽出するなどの調査・研究事業が可能となり、その成果を各種研修会や学会等において発表、事業団の定期広報誌やホームページにおける情報の発信等に広く活用するとともに、行政や受診団体に提供し、各団体が行う健康づくり事業等への活用も促進していきます。

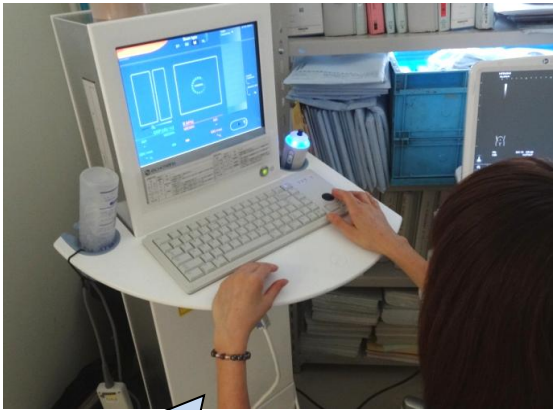
当事業団は、平成26年4月1日より『公益財団法人山梨県健康管理事業団』としてスタートいたします。これまで以上に公益法人としての重要性を認識し、県民の公衆衛生の向上に寄与し、社会貢献していく活動を行って参ります。



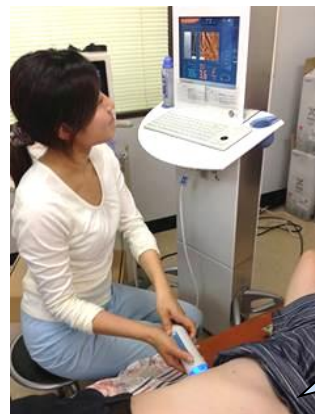
## 肝臓の硬さを測るフィブロスキャン検査を始めました

今年事業団では、県から補助金を受けてフィブロスキャン装置を購入しました。フィブロスキャンとは肝臓の硬さと脂肪量を測る装置で、住民健診において検査を行いましたのでご報告いたします。

早川町の総合健診において、4日間、1日約20名の希望者を検査、実施いたしました。



フィブロスキャンを操作しています



測定中  
痛くも痒くもありません



ポータブルの超音波診断装置で  
肝臓の位置を確認中



フィブロスキャンの値です  
グリーンが脂肪量、オレンジが肝硬度値

- ・ポータブルの超音波診断装置で皮下脂肪の測定と、肝臓の位置、超音波所見等を検査し、その後フィブロスキャンで検査します。
- ・プローブを当てる位置は同じところで、10回超音波で測定します。
- ・測定値は、10回の中間値として表示され、硬さや脂肪量の評価となります。

今回、4日間の健診で77名が受診し、肝硬度要精検者(12.0キロパスカル以上)が9名、肝脂肪量要精検者(291dB/m以上)が9名でした。精検者の方々に精検依頼書を発行し、かかりつけ医、あるいは専門医に受診していただくよう受診勧奨を行いました。

# 結核と肺がん

結核と聞くと国民世論は、もうすでに過去の病気だという認識が強く関心低下がありますが、日本での2010年、新規登録患者数は23,261人、罹患率は人口10万人対18.2人。患者のうち高齢者の占める割合が高く70歳以上は51.2%、80歳以上は29.7%という統計結果が報告されています。

また、複数の結核治療薬が効かない多剤耐性結核菌の存在が大きな社会問題になっています。決して結核は、侮れない過去の病気ではないという注意喚起が必要です。

当事業団でも、結核検診業務と世論に訴えていく啓発活動が今後も大変重要だと考えます。

平成24年度・当事業団結核検診・肺癌検診結果の統計は次のとおりです。

結核検診 全実施主体 12,601名中 肺結核疑い 10名（男性…6名 女性…4名）

肺癌検診 全実施主体 23,602名中 活動性結核 35名（男性…18名 女性…17名）

肺癌は、日本国内では、近年の統計結果で全癌死の19%を占め、男性では、全癌死の中で最も多く女性では、大腸癌・胃癌に次いで3番目を占めています。

平成24年度・当事業団結核検診・肺癌検診結果の内訳は次のとおりです。

結核検診 全実施主体 12,601名中 原発性肺癌 4名（男性…3名 女性…1名）  
転移性肺癌 0名  
肺癌の疑い 2名（女性…2名）

肺癌検診 全実施主体 23,602名中 原発性肺癌 13名（男性…8名 女性…5名）  
転移性肺癌 2名（男性…1名 女性…1名）  
肺癌の疑い 9名（男性…6名 女性…3名）

昨年、検診連絡協議会では、他施設での集団検診で肺癌が、ステージ4クラスで発見された事例が報告されました。

これには他の検診施設でも驚かされ、検診の有り方が問われるのではと一時議論されました。

肺癌検診業務において、検診施設側では、ヘビースモーカーなど高リスク群の早期肺癌発見に効果のあるヘリカルCTの早期導入を図る必要があると考えます。

ヘリカルCTスキャンは、1回の息止め（10秒以内）で、全肺野すべてを把握でき心臓の裏側や横隔膜で隠れた微小な病変部の検出に大きな威力を発揮出来ます。



## 設立30周年記念式典・講演会を開催します

当事業団はおかげ様をもちまして設立30周年を迎えることになりました。今回、設立30周年の記念行事の一環として講演会を開催し、皆様と一緒に今後の健診事業を考える機会としたいと思います。

- ◎日時:平成25年11月27日(水)  
記念式典 午後2:00~2:30  
講演会 午後2:40~4:00  
◎場所:甲府富士屋ホテル 1階 昇仙閣

### ◎講演会テーマ

「高齢社会における健診事業のあり方を考える」  
~健康管理事業団の30年と今後~

山梨県健康管理事業団理事・診療所長  
長田忠孝医師

「大切なあなたに」

日本対がん協会 阿南里恵氏

入場無料

## がん征圧月間に街頭キャンペーンを行いました

★★今年度のがん征圧スローガンは『がん検診いつ受けるの？今でしょ!!』★★

◎9月の「がん征圧月間」に合わせ、県をはじめ関係機関の協力のもと、9月4日(水)朝7時25分から甲府駅周辺で、がん征圧月間のチラシとドリップコーヒーを配布し、がん検診受診を呼びかけました。

◎9月21日(土)にも県や富士河口湖町のご協力を頂き、富士北麓地域(イツモア赤坂店)で「がん征圧街頭キャンペーン」を行い、チラシとドリップコーヒーを買い物で訪れた人に配布しました。また当日はマンモグラフィ検査も実施し、17名の方が受診されました。



## 9/24~9/30は結核予防週間でした

★★結核予防週間の標語『二の腕の  って結核の予防だったんだ』★★

◎9月25日(水)に結核予防週間に合わせて街頭キャンペーンを行いました。朝7時20分から甲府駅南口エスカレーター下で、県及び婦人団体からも多くのご参加を頂き、結核予防週間のカットバンとティッシュを配布し、結核予防週間の告知と結核予防を呼びかけました。

◎9月28日(土)は小瀬スポーツ公園で開催された「いきいき山梨ねりんピック2013」に参加しました。お天気にも恵まれ、多くの方々が当事業団のブースに足を運んでくださいましたので、がん征圧月間のチラシ、ドリップコーヒー、結核予防週間のカットバン、ティッシュ、花の種等を配布し、活発な普及啓発を行うことができました。

